

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 にじっこらんど宮の沢		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 7日		～ 令和 7年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 13日		～ 令和 7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基本1対1で個別活動を展開しており、提示課題についてもそのお子様に合わせて展開していけること	お子様の発達状況や情緒面等で職員1人に付き、子どもが2人という形になる時もありますが、基本1対1になるように配置しています。また、提示課題も固定化しないよう常に気を付けながら、設定しています。	職員間での個別活動内の様子の共有をさらに徹底していき、お子様の『困り感』が少しでも減るように行っていきます。
2	個別活動のみならず、小集団での活動を毎回行っていること	最大8名ぐらいの小集団で運動や製作など様々なプログラムを展開しています。また、運動などでは、年齢や発達状況に合わせて段階を変えたりしています。その中でお友達と協力したり、話し合ったりなどコミュニケーションをとる場面を意図的に設けています。	ご利用するお子様の様子などにもよりますが、少しずつ買いや遠出などの戸外活動も増やしていきたいと考えています。
3	余暇活動などで十分なスペースを確保することができる	空間の分け方によっては、4か所ほどの空間で余暇の時間を過ごせるように工夫をしています。また、仕切りを無くすと学校の教室一つ分の広さにはなるため、小さいながらも軽い運動などは行う事ができます。	広さを生かした活動の展開のバリエーションを増やしていき、色々な体験が行う事ができるようにしていきたいと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練などを年2回以上は行っているが、それを周知しきれしていないこと	札幌市の規定通りには行ってはいるのですが、当日参加している方しか知る機会がないのが原因であると考えています。	12月中旬頃にホームページを開設いたしました。そのため、今後はそこで報告していこうと考えております。
2	療育提供時間が短めであること	午前・午後と2部制であるため、療育時間が基本1時間20分から30分程度になります。そのため、長く療育を受けたいと考えている方にとっては、少なく感じてしまうと考えております。	短い時間の中でもしっかりとした療育を提供できるように、プログラムを考えていく必要があると考えています。また、指導員のスキルアップもさらに行っていき、色々な面から支援が出来るようにしていきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 にじっこらんど宮の沢

公表日 令和 7年 2月 7日

利用児童数

8名

回収数

7名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	1	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	7					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	1	3		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			2	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7				
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 にじっこらんど宮の沢				公表日	令和 7年 2月 7日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		活動に合わせて、療育スペースを変更したりして支援を展開しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		基本指導員と子どもが1対1になるように配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		視覚的にもプログラムなどを提示したりしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		日々、清掃作業を行って清潔であるように保っています。また、家具などでの怪我の恐れがないよう対策しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		子ども様子に合わせて別室でも過ごすことが出来るようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎月会議などで行っており、参加することが出来なかった職員のために書面でも残しています。	参加できていない職員などがしっかりと書面を見て知っているかどうかを把握しきれていない時もあります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		昨年度行った評価を踏まえて改善できる部分は、積極的に進めて行っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎月会議以外でも把握する機会を設けております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	まだ、第三者による外部評価を受ける機会が設けられておりません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		研修については都度声掛けをし、参加の機会を提供しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>		現在、事業所のホームページにて3月中旬辺りまでに公表するように準備しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		定期的に面談を行い、ニーズや課題を分析しながら作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		定期的にモニタリング会議を行い、検討しております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		その日、担当するお子様の支援計画を必ず見るようにしております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		<input type="radio"/>		標準化されたツールを用いてアセスメントを行っておりません。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		常にガイドラインを確認しながら支援内容を設定しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		<input type="radio"/>	個別のプログラムは担当職員、集団のプログラムはリーダーを担当する職員間で行っております。	個別のプログラムの相談についてはほぼ児童発達支援管理責任者と行う事が多く、チームでは行っておりません。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		前回のプログラムを常に確認しながら、固定化しないよう日々変えて行っております。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		支援計画はもちろんのこと、その日の様子によって適宜支援の展開を変えています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		毎朝打ち合わせを行い、情報共有しながら行っています。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		児童発達支援管理責任者には共有されていることが多いが、その他の職員間での共有は少ない状態です。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		その日の内に記録を取るように徹底しております。また、月末事に必ず記録があるか確認しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		基本、自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供の3つをその時に応じて組み合わせさせて行っております。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		明確的に自己決定をする場面は少ないですが、日々の支援のなかで必ず少しは行えるようにしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○		まだ、参画する機会になっておりません。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		該当する関係機関とはしっかりと体制を整えております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○	保護者の方と行事等の情報共有を行っております。また、ホームページなども活用し把握しております。	学校との情報共有は出来ていません。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		まだそのような機会になっておりません。しかし、しっかりと行うことが出来るように体制を整えています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		昨年度開所したことと低学年までのご利用のため、その機会にはなっておりません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		今後、必要に応じて機会を設けることが出来るようにしていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		遠くの公園などに遊びに行った際などで交流する機会はありませんが、意図的に設けられてはいません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		今後は調整し、参加できるようにしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々連絡帳やLINEなどで情報を共有しております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		必要に応じて個々に情報提供をしています。	研修は設けられておりません。希望する方などがいれば、機会を設定出来るようにしていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○	最初の契約時に説明させていただいております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		○	必ず面談を行い、機会を設けさせていただいております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		○	必ず面談を行い、機会を設けさせていただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○	相談事があった際は、すぐに対応させていただいております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		ご希望がありましたら、機会を設けられるようにしていきたいと考えております。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	しっかりと周知し、迅速に対応できるように体制を整えております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		現在、ホームページの開設を進めております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	しっかりと保管・留意させていただいております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	視覚的にもわかるように情報伝達させていただいております。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		年に一回系列の保育園と合同にサマーフェスティバルという祭りを開催させていただいております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルに関しては、策定し周知させていただいております。また、訓練も行っております。	パート職員などがどこまで把握できているか確認できていないため、今後細かく行っていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に行っております。	行っていますが、保護者には周知しきれていないと感じています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		常に書面でも確認しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	まだ、指示書までが必要な方の利用がありません。しかし、事業所側で用意したフェイスシートで常に確認しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画については、毎年作成し、訓練等を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		今年度から周知させていただいております。	周知しきれていないご家族もいらっしゃいます。そのため、今後も引き続き周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットがあった際は、すぐに検討しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に一回以上は研修する機会を設けております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に必ず周知させていただいております。	やむを得ず身体拘束を行わないといけない方がまだ利用されていないため、記載しているものがありません。